



THE SERVICE CLUB FOR THE YMCAs

CHARTERED IN 2010

長野ワイズメンズクラブ 会報

2017年

6月 第79号

THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGANO

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



2016~2017 年度主題

国際会長 Joan Wilson (カナダ) “Our Future Begins Today.” 「私たちの未来は、今日より始まる」
 アジア会長 Tung Ming Hsiao (台湾) “Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」
 東日本区理事 利根川 恵子 (川越クラブ) 「明日に向かって、今日動こう」
 あずさ部部長 浅羽 俊一郎 (東京山手クラブ) 「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
 クラブ会長 森本俊子 「長野クラブオリジナルの活動を膨らませよう」



今月の聖句

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。

<コリントの信徒への手紙> 4:18

丁 胤植 選

6月 例会案内

日時 2017年6月21日(水)

6:30pm~8:30pm

会場 レストランやま

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング、ワイズの信条 今月の聖句
3. 会長あいさつ
4. ビジター・ゲスト紹介
5. 報告 川越大会参加報告ほか
6. 卓話「車椅子から見た施設のことなど」
公益社団法人 全国脊髄損傷者連合会
本部理事
玉木一成さん
7. ワイズディナー
8. 自由トーク (会員各人の近況報告)
9. ハッピーバースデー ()
10. 1 YMCAsの歌、あずさ部の歌
11. 閉会点鐘 会長

川越大会無事終了 森本俊子

第20回東日本区大会が川越で開かれ、長野クラブからは8人で参加することができました。昨年ホストクラブをさせていただいたおかげで、年に一度の大会の持つ意味がわかったからです。

他のクラブの活動の様子やワイズメンズクラブの今が理解できたと思いますが、なにより、長野クラブのメンバーが車に乗り合わせて川越まで行き、多くのワイズメンと交流できたことが良かったことだと思います。恒例の表彰が行われ、長野クラブもたくさん表彰状をいただきましたが、何ととっても嬉しかったことは、新入会員獲得事業で、甲府21クラブとともに最優秀賞をいただいたことです。

小林ワイズが、岩田さん、久保田さんをお誘いくださったことが大きいです。堀内さん、青山さんは昨年の大会がご縁です。

そして、プルタブを集めて獲得する車椅子も、なんと長野クラブがいただくことができました。ほかのクラブのほうがたくさんあつめておられるのですが、希望者が長野に譲ってくださったのでしょうか。希望通り「東山荘」へ寄贈させていただきました。御殿場の富士のよく見えるところにある東山荘は青少年の研修などにつかわれます。野外活動にも使えるようにと車椅子の補助器具JINRIKIをYMCA同盟が購入してください、もう早速この夏の活動に使ってもらえます。このアイデアを思いつかせてくださった小林ワイズとともに、小江戸と言われる川越の街を楽しんで歩けたことが何よりの思い出となりました。同行の皆さん、そして協力してくださったワイズメン各位にお礼申し上げます。

5月データ

在籍会員 14名
 例会出席者 10名 例会出席率 76%
 (メイキャップ・メネット含む)
 ゲスト 1名

例会のご案内

毎月第3水曜日
 18時30分から20時30分
 ところ レストラン やま
 連絡先 会長または書記へ
 tokoton921@gmail.com (森本会長)
 f69a9n@bma.biglobe.ne.jp (小林書記)

会長	森本俊子
副会長	福島貴和
書記	小林美彦
会計	倉石美津子
監査	塩入 隆
ブリテン	小林美彦、堀内雅俊
担当主事	露木淳司

5月の例会報告

出席者 青山史恵、岩田幸男、久保田恵子、倉石美津子、小林美彦、小林晶子（メネット） 丁胤植
福島貴和、堀内雅俊、森本俊子、
ゲスト 鷲澤正弘さん（吹き矢協会長野支部長）

福島ワイズの司会により開会、開会点鐘、ワイズソングの後、会長挨拶とゲスト紹介。川越大会参加の打ち合わせ確認の後、長野クラブが共催しているユニバーサルサポータークラブの活動報告があった。戸隠で行われた車椅子で奥社まで3人が登れた「体験会」は多くのマスコミも同行取材し紹介してくれた。行政や福祉の関係者の参加もあり、今後の展開に期待が持てる。

卓話は、スポーツ吹き矢協会長野中央支部長の鷲澤正弘氏が体験道具持参で来訪し、スポーツ吹き矢について丁寧に紹介して下さった。新会員の岩田さんもこの協会員で毎日曜日に長野市の中央公民館で例会を行っておられるとのこと。この競技は発祥が日本で、今全国で6万人ほどが入会しており、長野県ではこの10年で600人が会員で、16支部がある。長野市内には6つのしぶがあり、松本には160人ほどの会員がいて、先日、目の不自由な方もこの競技を楽しめるように音の出る的を開発し競技を行ったとのこと。矢の速さは、男性の場合耳側100～120キロで誰でも場所をとらず簡単にできるのが良いスポーツ。須坂市には88歳と85歳の兄弟が健康のために楽しんでいるとのこと。競技は一ラウンド5本の矢を吹いて、30回行う。筒の重さは120gから500gまであり、自分に合う筒が選べるなどの説明があり、みんなで、実際に吹き矢の体験をした。倉石ワイズがいきなり真ん中に射てご本人もびっくり。呼吸法の訓練としてもよいスポーツと実感。最初は6メートル手前からはじめ、25点取ったら1メートルずつ下がるとか、段位がもらえるとか、富士見高原に専用のコースがあるとか野外で行うにも魅力的なスポーツだと感じた。ワイズディナーを挟んで吹き矢の感想や車椅子体験会の話などをした後、浅羽ワイズ作のあずさ部の歌を歌って閉会。その後も川越行きの打ち合わせなど仲良く行って散会した。



本当に吹いてみました。



え！当たってるなんて？！



川越大会報告





楽しい市内散策の様子



YMCA だより

露木淳司

定期総会が無事終了しました。山梨 YMCA の財政構造はこの 10 年で大きく様変わりしました。英語学校が収益の半分を占めていた時代から、4 本の柱で支えるスタイルになっています。すなわち、学童保育（プライムタイム）、介護保険事業（ぶどうの木）、野外活動、そして英語学校です。そして今年から 5 本目の柱として障がい児の放課後等児童デイサービスを立ち上げました。これらの事業が等しく安定して収益が上がるようになれば、組織は安泰なのですが、もうしばらく時間がかかりそうです。

今年の基本聖句は、今の産みの苦しみを耐え抜きたいという願いの下に選びました

。ローマの信徒への手紙 8 章 1 8 節「現在の苦しみは、将来わたしたちに現されるはずの栄光に比べると取るに足りないとわたしは思います。」です。

2021 年の 75 周年を見据えて、FOR ALL をキーワードに、四代目となる新会館建設を実現すべく、この夏より 75 周年記念募金を開始させていただきます。今後共、皆様の YMCA づくりに向けて、より一層のご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

クラブ会費の振込をお願いします

ワイズ会費を払うことが、ワイズ活動のボランティア参加に直結しています。今年度後期会費(1月～6月)18000円。まだの方、お振り込みをお願いします。(1 年分は 36000 円です)

八十二銀行 昭和通営業部番号 214)
普通預金 □座番号 871118
長野ワイズメンズクラブ会計
倉石美津子

これからの予定

- 7月15日(土)あずさ部評議会 松本
- 7月19日(水)キックオフ例会
レストランやま
大野新部長訪問
- 7月29日(土)車椅子体験会(白馬五竜)
- 8月11日(祝)聖地に平和を！交流会
ふれあい福祉センタ
- 8月16日(水)例会 レストランやま